

## 大阪大学核物理研究センター研究計画検討専門委員会議事録

日時：平成 27 年 9 月 15 日(火) 11:00～18:00

場所：核物理研究センター 本館二階会議室

出席者：

- ・ 委員：若狭智嗣(九大), 川畑貴裕(京大), 関口仁子(東北大), 上野秀樹(理研), 大津秀暁(理研), 成木恵(京大), 宇都野穰(JAEA), 今井伸明(東大 CNS), 豊嶋厚史(JAEA), 阪口篤志(阪大), 緒方一介(RCNP), 青井考(RCNP), 堀田智明(RCNP)
- ・ センター長：中野貴志(RCNP)
- ・ 研究企画室：畑中吉治(RCNP)

欠席者：慈道大介(首都大), 木村真明(北大), 明孝之(大工大), 森正樹(立命館大), 山崎祐司(神戸大), 野海博之(RCNP), 民井淳(RCNP)

## 報告事項

## 1. 一般報告(中野)

- ・ 今年度及び来年以降の予算の見通しについて説明があり, 質疑応答がなされた.
- ・ MuSIC に於いて表面ミュオン観測に成功. 今後利用に向けて整備していく. 現時点ではコミッションの段階であり, MuSIC 利用のプロポーザルについての PAC の体制等は今後検討していく.
- ・ 今回は B-PAC の課題申請が少なかった.

## 2. Q-PAC 報告(成木)

- ・ 8 月 28 日に開催された Q-PAC について, 答申案が示された.
- ・ LEPS 実験, LEPS2 BGOegg 実験の現状, LEPS2 Solenoid 実験の準備状況について報告を受け, 助言を行った.
- ・ 既存のコラボレーターの枠を超えた新規の参加者の参入を図る事が重要である.
- ・ 3 月上旬に次回 Q-PAC を開催予定. 理論部との連携に関する報告も求める予定である.

## 3. 研究会報告書確認(堀田)

- ・ 報告書は以下の URL に掲載.  
[https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/Divisions/plan/p-pac/saitaku\\_index.html](https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/Divisions/plan/p-pac/saitaku_index.html)
- ・ 研究会に対する予算削減の影響の有無等について議論がなされた.

## 4. B-PAC 報告(川畑)

- ・ 8月27日に開催された第78回B-PACについて報告がなされた。
- ・ 申請課題8件を審査し、64.5日のビームタイム要求に対し56日分の課題を採択した。

## 審議事項

### 1. 平成27年度後期研究会

- ・ 4件の研究会計画を審議し、3件を採択し1件を保留とした。
  - 国際シンポジウム「高分解能核分光とテンソル相互作用」HST15(開催地: 阪大中之島センター), 申請額50万円→採択額40万円.
  - 「全反応断面積及び荷電変化断面積による陽子・中性子半径の現状と展望」(RCNP), 申請額40万円→採択額30万円.
  - 宇宙核物理連絡協議会定期研究会(国立天文台), 申請額55万円→採択額20万円.
  - 「スパコンで探るクォーク・ハドロン・原子核物理」(RCNP), 申請額40万円→保留.

### 2. MuSICの現状とビームタイムの要求(佐藤)

- ・ 7月1日に表面ミュオンの観測に成功した事、ビームライン及び $\mu$ SR装置の開発の現状等について報告があり、MuSIC施設のコミッションングのため加速器開発としてのビームタイム割り当ての要望が出された。
- ・ 審議の結果これを承認した。

### 3. MuSIC利用のB-PACプロポーザル(阪大理・二宮)

- ・ B-PAC申請課題“Development of muonic X-ray measuring system and precise determination of muon capture probabilities for iron compounds”について、プレゼンテーション及び審議を行った。
- ・ 当課題は、手違いにより8月27日に開催されたB-PACで審査できなかったものであり、B-PAC委員からのコメントを付与した上でP-PACに審議が付託された。
- ・ 審議の結果、実験の意義は認められるが、セットアップや実験の詳細についてさらに検討が必要であると判断した。関係者とも調整の上、次回B-PACに再提出を求める事となった(conditional approve)。

### 4. 医理核物連携プロジェクトのためのRI製造(阪大理・篠原)

- ・ 新規プロジェクトとして、阪大の医理核物連携プロジェクト(概算要求・教育研究特別経費)のRI製造と分離精製、RI供給を目的とするプロジェクトが提案された。
- ・ 審議の結果このプロジェクトを承認した。今後定期的な報告を求める。
- ・ 実際のマシンタイムの割り当てやスケジュールについてはRCNPと十分な協議を求める。

### 5. センター長裁量ビームタイムの利用(九大理・若狭, RCNP・緒方)

- ・ 緊急課題として「 $E_p=200$  MeVにおける(p,2p)反応の分光学的手段としての信頼性の確認」のため、センター長裁量ビームタイムを利用したいとの要望が出された。
  - ・ 審議の結果、これを承認した。
  - ・ センター長裁量ビームタイム全般の扱いについて議論がなされ、どのような利用が行われたか事後に報告が欲しいという意見があった。
  - ・ 教育用ビームタイムを一層有効に活用するための取組について検討することとなった。(担当: 川畑委員)
6. EN コースビームライン改善のためのビームタイム申請(王)
- ・ 新規プロジェクトとして、EN コースの光学系の見直しとコミッショニングと検出器のアップグレード計画が提案された。
  - ・ 審議の結果、光学系の最適化とそれにとまなう経費(ビームパイプ)10万円、ビームタイム 1 日を選択した。実施にあたっては研究企画室との協議の上行うこととする。
  - ・ 検出器のアップグレードについては、コミッショニングの結果を受けて計画を再検討し、再度提出を求めることとする。
7. 前回議事録承認
- 審議の結果、前回(27年4月11日)の議事録案を承認した。
8. その他
- 次回開催予定：2015年12月頃、日程調整は別途行う。